2026年10月27日

各　　位

会 社 名　永大化工株式会社
代表者名　代表取締役社長　鈴木　広二
（コード番号:7877　東証スタンダード市場）
問合せ先　執行役員管理本部長　田中　敏幸
（TEL. 06－6791－3355）

（訂正・数値データ訂正）「2027年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正についてのお知らせ

当社は、2026年８月７日に公表いたしました「2027年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．訂正の理由

当第１四半期より開始した産業資材関連の空調用銅管の製造における生産工程の一部を請負う取引について、取引実態を踏まえ再検討した結果、有償支給取引として、加工サービスに係る対価相当額を売上高として計上することが適切であると判断したため、関連する記載を訂正するものであります。

なお、本訂正は売上高、売上原価及び関連する資産の表示方法を見直すものであり、利益への影響はありません。

２．訂正箇所

訂正箇所が多数あるため、訂正後の決算短信の全文を添付し、訂正箇所には下線＿＿を付して表示しております。

以　上

2027年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年８月７日

上 場 会 社 名　永大化工株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　7877　URL https://www.eidaikako.co.jp/
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　(氏名)　浦　義則
問合せ先責任者　(役職名)　執行役員管理本部長　(氏名)　田中　敏幸　TEL　06-6791-3355
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：無
決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．2027年３月期第１四半期の連結業績（2026年４月１日～2026年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期第１四半期	2,518	8.3	131	△9.0	141	18.0	102	40.9
2026年３月期第１四半期	2,325	2.2	144	228.9	119	56.0	72	50.4

(注) 包括利益　2027年３月期第１四半期　128百万円(― %)　2026年３月期第１四半期　9百万円(△91.7%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期第１四半期	82.97	―
2026年３月期第１四半期	55.28	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期第１四半期	10,179	7,452	73.2
2026年３月期	10,120	7,410	73.2

(参考) 自己資本　2027年３月期第１四半期　7,452百万円　2026年３月期　7,410百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	70.00	70.00
2027年３月期	―				
2027年３月期(予想)		0.00	―	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	3.0	500	4.8	500	1.4	350	4.8	284.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

詳細は、添付資料２ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期１Ｑ	1,460,000株	2026年３月期	1,460,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期１Ｑ	229,936株	2026年３月期	229,936株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年３月期１Ｑ	1,230,064株	2026年３月期１Ｑ	1,310,125株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等） …… 7
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（重要な後発事象） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移いたしました。しかしながら、中東情勢の警戒感が再燃したことにより、原材料価格の高止まりの解消に見通しが立っておりません。また、為替相場においては円安基調がさらに強まり、前年同期の140円台半ばと比べて大幅な円安となるなど、先行きの不透明感が一段と高まっております。

このような経済環境のもと、当社グループにおける自動車用品セグメントについて、主要の顧客層である自動車業界では堅調な需要が継続したほか、新型車およびモデルチェンジの発売効果による需要増等を受けて、売上は16億33百万円(前年比10.5%増)となりました。

産業資材セグメントについては、経済産業省による2027年度からのエアコン省エネ基準強化施行前のルームエアコン買い替えなどの駆け込み需要から、エアコン配管用化粧カバーの売上が好調でありました。加えて、エアコン関連部材である空調用銅管の製造における生産工程の一部を請負うこととなり、当期より生産を開始しましたが、エアコン省エネ基準強化施行前ということから同様の理由により売上が増加しました。

公共事業向け下水道補修部材においても下水道の老朽化問題から需要が高まり、売上は堅調に推移いたしました。また、半導体搬送用ケースのマガジンスティックについては、安定した受注が継続し、売上は堅調に推移いたしました。一方で、合成木材製品については、新設住宅着工戸数が減少傾向にあり、依然として住宅・建設業界が厳しい環境であるなか、主力製品のエクステリア用ウッドデッキ材等の販売がふるわず、前年を下回る売上となりました。以上の結果、産業資材セグメントの売上は８億84百万円(前年比4.4%増)になりました。

利益面では、中東危機による原料高を受けて塩化ビニール樹脂が最高値を更新するなど、原材料費の高騰が見られたほか、人件費の増加、円安の長期化に伴う輸入コストの増加など、製造コストを圧迫する環境要因が重なり、前年同期比で減益となりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は25億18百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は１億31百万円（前年同期比9.0%減)、経常利益は１億41百万円（前年同期比18.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は１億２百万円（前年同期比40.9%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当社グループは、適切な流動性の維持、事業活動のための資金確保、及び健全なバランスシートの維持を財務方針としております。

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、101億79百万円となり、前連結会計年度末と比較して58百万円の増加となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して55百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少１億28百万円、受取手形及び売掛金の増加１億10百万円、棚卸資産の減少37百万円、その他の増加83百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して２百万円の増加となりました。その主な要因は、有形固定資産の減少14百万円、無形固定資産の増加２百万円、投資その他の資産の増加14百万円によるものであります。

当第１四半期連結会計期間末の負債は、27億26百万円となり、前連結会計年度末と比較して16百万円の増加となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して42百万円の増加となりました。その主な要因は、短期借入金の減少71百万円、支払手形及び買掛金の増加２億81百万円、賞与引当金の減少61百万円、未払法人税等の減少１億18百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して26百万円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金の減少57百万円、繰延税金負債の増加28百万円によるものであります。

当第１四半期連結会計期間末の純資産は、74億52百万円となり、前連結会計年度末と比較して41百万円の増加となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定の増加26百万円、利益剰余金の増加15百万円、有価証券評価差額金の増加３百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期の連結業績予想については、2026年５月13日に公表いたしました通期業績予想に変更はございません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,850,116	2,721,789
受取手形及び売掛金	1,525,233	1,636,109
商品及び製品	593,666	581,234
仕掛品	138,133	127,473
原材料及び貯蔵品	823,936	809,171
未収入金	85,237	113,286
その他	55,510	138,667
流動資産合計	6,071,834	6,127,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	744,927	730,523
土地	1,842,844	1,842,844
その他（純額）	423,498	423,433
有形固定資産合計	3,011,270	2,996,801
無形固定資産		
土地使用権	207,341	208,394
その他	12,746	14,178
無形固定資産合計	220,088	222,573
投資その他の資産		
繰延税金資産	22,180	23,994
その他	795,064	807,958
投資その他の資産合計	817,244	831,952
固定資産合計	4,048,603	4,051,327
資産合計	10,120,437	10,179,059
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	509,775	791,725
電子記録債務	125,610	128,515
短期借入金	199,000	128,000
1年内返済予定の長期借入金	231,528	231,516
未払法人税等	150,141	31,631
賞与引当金	115,859	53,941
未払金	119,739	100,214
その他	145,814	174,867
流動負債合計	1,597,468	1,640,411
固定負債		
長期借入金	587,189	529,322
繰延税金負債	89,787	118,453
再評価に係る繰延税金負債	289,614	289,614
役員退職慰労引当金	59,722	60,960
退職給付に係る負債	86,042	87,692
固定負債合計	1,112,356	1,086,042
負債合計	2,709,824	2,726,454

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年６月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,700	1,241,700
資本剰余金	1,271,253	1,271,253
利益剰余金	4,167,255	4,183,215
自己株式	△359,429	△359,429
株主資本合計	6,320,779	6,336,739
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,486	78,155
土地再評価差額金	467,496	467,496
為替換算調整勘定	389,124	416,097
退職給付に係る調整累計額	158,724	154,117
その他の包括利益累計額合計	1,089,832	1,115,866
純資産合計	7,410,612	7,452,605
負債純資産合計	10,120,437	10,179,059

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年６月30日）
売上高	2,325,267	2,518,025
売上原価	1,765,291	1,956,733
売上総利益	559,975	561,291
販売費及び一般管理費	415,474	429,739
営業利益	144,501	131,552
営業外収益		
受取利息	107	136
受取配当金	829	1,338
為替差益	―	8,579
受取賃貸料	1,140	1,070
その他	1,813	939
営業外収益合計	3,891	12,065
営業外費用		
支払利息	1,370	1,484
為替差損	26,830	―
支払補償費	―	720
その他	518	221
営業外費用合計	28,719	2,426
経常利益	119,673	141,192
特別利益		
固定資産売却益	299	―
特別利益合計	299	―
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	119,973	141,192
法人税、住民税及び事業税	20,891	11,727
法人税等調整額	26,651	27,400
法人税等合計	47,543	39,128
四半期純利益	72,430	102,064
親会社株主に帰属する四半期純利益	72,430	102,064

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年６月30日）
四半期純利益	72,430	102,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,780	3,668
為替換算調整勘定	△65,192	26,972
退職給付に係る調整額	△2,242	△4,607
その他の包括利益合計	△62,654	26,033
四半期包括利益	9,775	128,097
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,775	128,097

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　2025年４月１日　至　2025年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,478,527	846,739	2,325,267
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―
計	1,478,527	846,739	2,325,267
セグメント利益	126,018	18,483	144,501

（注）セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　2026年４月１日　至　2026年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,633,909	884,115	2,518,025
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―
計	1,633,909	884,115	2,518,025
セグメント利益	103,358	28,194	131,552

（注）セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年６月30日)
減価償却費	58,400千円	51,945千円

（重要な後発事象）

該当事項はありません。